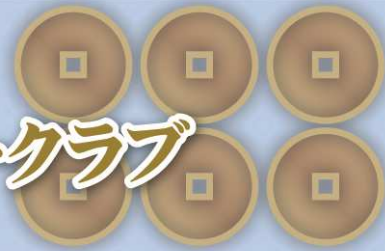




2018-19年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

第2600地区ガバナー 伊藤 雅基

国際ロータリー第2600地区  
**上田六文銭ロータリークラブ**  
Rokumonsen Rotary Club



【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1  
上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002  
<http://www.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30  
《例会場》上田東急REIホテル 2F  
《創立》1997年2月18日

●会長 水野 泰雄 ●幹事 小嶋 修一 ●会報委員長 柄澤 堯 ●副委員長 大久保昌宏 ●委員 西澤 文登/渡邊 章貴



会長挨拶

水野 泰雄君

「明けましておめでとうございます」と、言っていた一月もあっという間に終わります。「一年の計は元旦にあり」ですが、今年のはかりごとは進んでいますか？！

今日は久しぶりの職場例会です。懐かしく美味しいカツの後、これまた美味しい珈琲の香りと窓辺からの日差しに幸せな時間を過ごさせていただき、「ああ～本当に、上田六文銭RCに入って良かった。」と感じています。

懐かしいといえば絵本。その絵本で見たイヌ・サル・キジとともに鬼を退治した桃太郎。しかし「真の目的」は、そもそも鬼を懲らしめることだったのでしょくか。桃太郎といえば、岡山の「吉備津神社・吉備津彦神社」が発祥と言われている。というのも、古事記に吉備津彦命が温羅（鬼）退治するエピソードがあり、それが元になっていると言われているからです。自分的には、「きびだんご」が浮かんできますが…。それはさておき、「桃太郎」のお話をベースに経営戦略を考えたいと思います。

そう～桃太郎の「目的（ビジョン）」は何だったか？桃太郎のストーリーはみんなご存知かと思いますが、そもそも何のために鬼ヶ島に乗り込んだのでしょうか？

鬼を懲らしめるため？～鬼を退治するため？～村人の不満を解消するため？～どれも間違いではあ

りませんが、これらは「手段」です。「桃太郎」の歌詞を見てみるとヒントがあります。

答えは…鬼にぶんどられた財産を村人に返すこと。その結果として平和な村を実現する～です。これが本来の目的であれば、必ずしも鬼をやっつける必要はありません。鬼を何とか説得して、無血開城させて平和の道に協力してもらうことも選択肢としてあります。鬼の方にも何か深い事情があるとすれば、それに「同意・同情」しなくても「理解」することで柔軟な解決思考が生まれます。言われてみれば当たり前の事ですが、我々は「手段」と「目的」を取り違えがちです。仕事でも同じようなことはありませんか？例えば、部長になる・売上目標を達成する・給料をアップする～これは「目的」でしょうか？ それとも「手段」でしょうか？ その答えは人によって違います。5～10年ぐらいの短期スパンで考えれば、上記は目的とも言えなくもありません。ただ「人生の目的」という視点からは「部長になる」は手段でしかありません。大事なのは自分にとっての「目的」と「手段」を混同しないこと。そのためには、年に一度ぐらい振り返りの機会を持った方が良さそうです。

ソフトバンクの孫さんの言葉を借りれば「自分がどの山に登りたいか（登っているか）確認すること」60歳の定年になってはじめて「違う山を一生懸命登っていた」ことに気づくほど悲しいことはないですから。以上自戒を持ってご紹介しました。



出席・ニコニコBOX報告

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	5	0	78.26%
前々回	24	6	2	83.33%

水野泰雄君 今日職場例会です。清水さんありがとうございます。珈琲も感謝です。

小嶋修一君 清水さんありがとうございます。

宮澤広一君 清水さんよろしくお願ひします。すばらしい製品とお店ですね

清水一典君 本日はお忙しい中、当社までお越しいただき、ありがとうございます。宜しくお願ひいたします。

中澤信敏君 清水さん、今日はよろしくお願ひします。

西澤尚夫君 清水さん、お世話になります。

西澤文登君 塩田家具様今日はありがとうございます。

飯島俊勝君 清水さん今日はお世話になります。

柄澤 堯君 素晴らしい会場ですね。楽しい職場例会。清水さんありがとうございます。

大久保昌宏君 塩田家具さんよろしくお願ひします。今日が妻の出産予定日ですが、生まれてくる気配がありません。

山崎芳雄君 塩田家具さん、本日はよろしくお願ひ致します。

斉藤恵理子君 宮原 宏一君 北村 久文君  
 杉山 裕君 吉田 穰君



プログラム

職場例会 (株) 塩田家具センター様

11 時 50 分～ 塩田の六文銭にて『六文銭カツ』をいただき、その後、新入会員 清水一典君の会社、(株)塩田家具センター様へ伺いました。

珈琲職人の方に淹れていただいたコーヒーを味わい、清水君のお話を聞きながら、展示されている家具や、お店の中を見学させていただきました。

宮澤広一君 台湾にてメイクしました。

